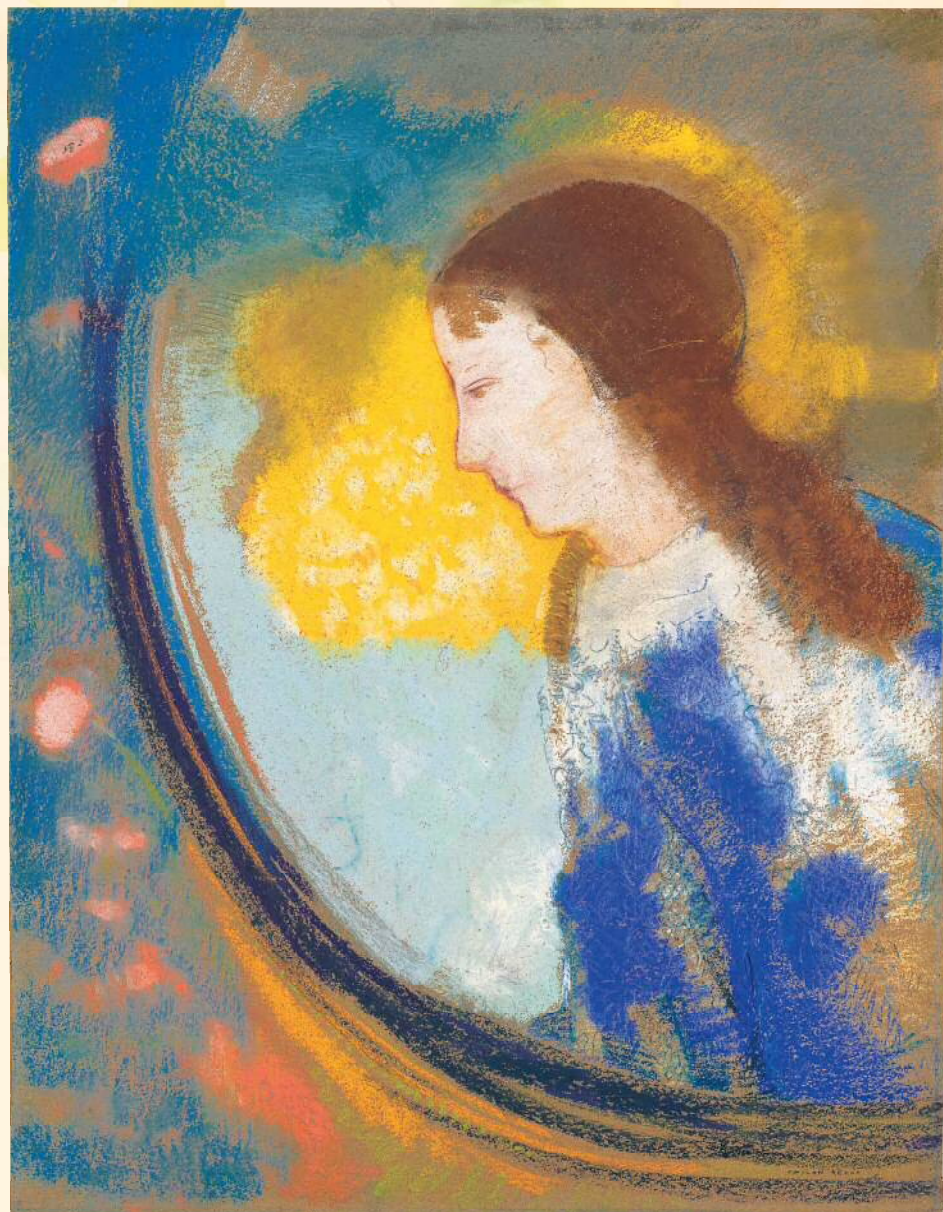


あの絵に
会いに行く



オティロン・ルドン《丸い光の中の子供》1900年頃

2016年7月2日^①→9月11日^②

午前9時30分→午後6時

(観覧券の販売は午後5時30分まで)

休館日 | 月曜日(7月18日、8月1日・15日を除く)、7月19日・26日～29日

観覧料 | 一般200円(160円)、大学生・高校生150円(110円)、中学生・小学生100円(70円)
()内は団体(20名以上)料金

- 土・日・祝日は中学生・小学生無料
- 当館主催の企画展開催中は、その観覧券でコレクション展もご覧いただけます。
また、中学生・小学生は企画展と合わせて無料となります。
- 障がい者手帳・療育手帳をお持ちの方及び一部介助者は無料(受付で手帳をご提示ください)。
- 団体観覧で解説をご希望の場合は、事前にご連絡ください。



関連事業

(1) コレクション展ギャラリートーク

(当館学芸員による解説)

7月23日(土) / 8月27日(土)

*いずれも午後2時から

(直接常設展示室にお越しください)

*いずれも当日の観覧券が必要となります。

(2) ふれあい美術館ガイド

(美術館協会のボランティアによるご案内と解説)

7月17日(日) / 8月21日(日) / 9月11日(日)

*いずれも午前11時から

(直接エントランスホールにお越しください)

*いずれも当日の観覧券が必要となります。

夏休み子ども講座

「たてもの探検隊」

親子でめぐる美術館探検ツアー。作品を守るための美術館ならではの設備や工夫、設計者である建築家・前川國男の素敵なこだわりをご紹介します。

日 時 | 8月10日(水) ※各回内容は同一

・午前の部 10:30~12:00

・午後の部 14:00~15:30

対 象 | 小中学生と、その保護者(低学年の児童が参加する場合は要保護者同伴)

定 員 | 各回20名

参加費 | 無料

申込方法 | 往復はがき、FAX、メールのいずれかで、以下①~⑤を記載の上、当館までお申込みください。

1件につき3名まで記載可能。

①参加者全員の氏名

②学年(保護者は「大人」とご記入ください。)

③代表者の住所・電話番号・FAX番号

④参加を希望する回(午前・午後)

⑤「たてもの探検隊」希望

締め切り | 8月1日(月)必着。応募多数の場合は抽選。

きままプログラム

ラウンジNにて本展に関連した「ちょこっとワークショップ」開催中。いつでもだれでも参加できます。

●同時開催の展覧会

徳川家康没後四〇〇年記念 天下太平 徳川名宝展
7月30日(土)~9月25日(日)

●新津美術館のお知らせ TEL:0250-25-1300

天野喜孝展
進化するファンタジー、夢、冒険、ロマン
6月19日(日)~8月21日(日)

皇妃エリザベートが愛したドナウの至宝
ヘレンド展
8月30日(火)~10月30日(日)

交通のご案内

▶タクシーで
新潟駅万代口から約10分

▶自動車
【1】高速道路 日本海東北自動車道、新潟亀田ICを降り、柳都大橋経由で約20分
【2】国道8号線(新潟バイパス)紫竹山ICを降り、柳都大橋経由で約15分

▶バスで
A: [観光循環バス・朱鷺メッセ先回りまたは白山公園先回り] 乗車時間 約30分
→バス停「新潟市美術館入口」下車→徒歩3分 ※一日14便運行
B: [C6八千代橋線] 乗車時間約16分→バス停「西堀通八番町」下車→徒歩5分
C: [B1萬代橋ライン(BRT)など] 乗車約10分→「古町」下車→徒歩12分(約860m)

※最も便数が多いです
※古町から[B:C6八千代橋線]または[C5西堀通線]入船営業所行きにも乗り継ぎできます

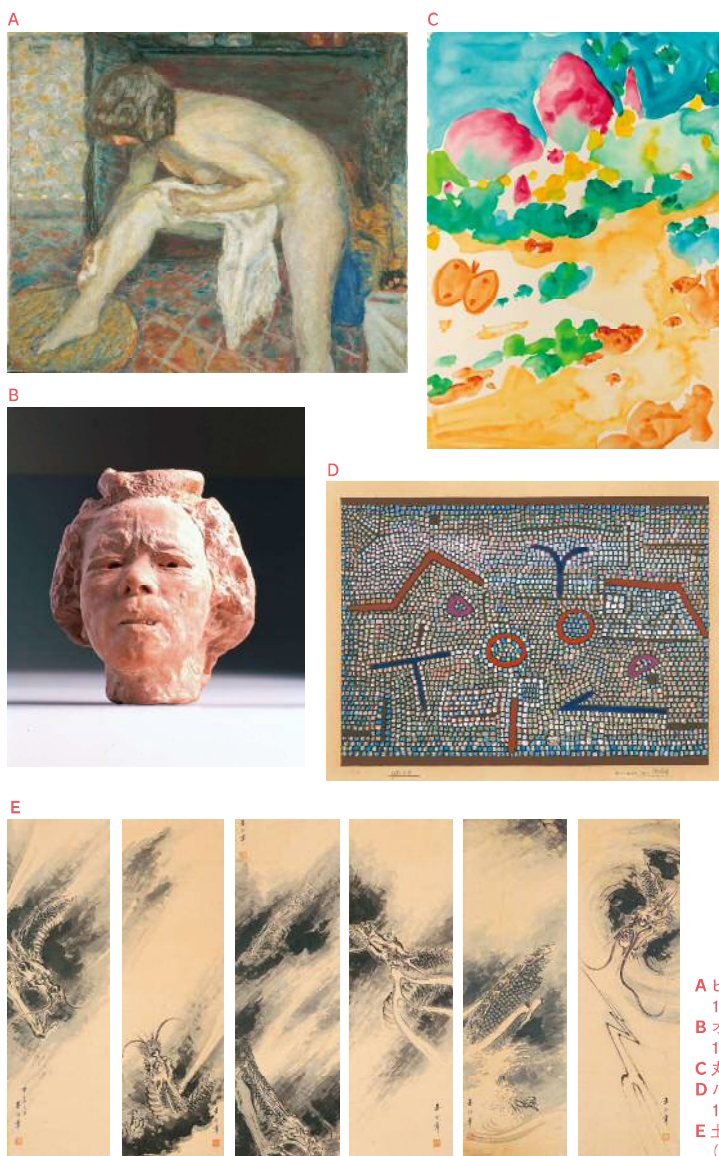
展示室で、 あの絵が あなたを待っています

当館は「新潟の昨日・今日・明日」、「19~20世紀の美術」、「21世紀の美術(国内中心)」という収集方針のもと、これまでに絵画・立体・版画・写真など4,714点を収蔵してきました(2016年5月現在)。本展では、その中でも当館を代表する名品を紹介します。

19世紀フランスで活躍したルドンやカリエール、ロダン、20世紀美術の動向を担ったマグリットやピカソなど、海外作家の名品を展示します。加えて、新潟県出身である土田麦僊の水墨画、横山操の大作《グランド・キャニオン》など、国内作家の多彩な作品も。

さらに、丸山直文や荒木経惟ら、近年の企画展出品作が新収蔵品としてお目見えします。

美術館の展示室は作品との出会いの場であり、コレクション展は所蔵品と出会う場です。いつかどこかで再会したい——そんな心に残る「あの絵」との出会いが、本展を訪れる皆様にありますように。



新潟市美術館といえば、
ボナール、ピカソ、それとも……？

A ピエール・ボナール《浴室の裸婦》
1907年
B オーギュスト・ロダン《死の顔・花子》
1907~1908年頃
C 丸山直文《丘に蝶》2013年
D パウル・クレー《ブルンのモザイク》
1931年
E 土田麦僊《龍》1904年
(六曲一双屏風のうち左隻)

 **新潟市美術館**
Niigata City Art Museum

〒951-8556 新潟市中央区西大畑町5191-9
TEL. 025-223-1622/FAX. 025-228-3051
Mail. museum@city.niigata.lg.jp
www.ncam.jp/
新潟市美術館公式Facebook
www.facebook.com/ncam.tsunagaru/

